



ザンビア共和国の森林保護プロジェクト

The 43rd Business Report

第43期 報告書 2019年1月1日～2019年12月31日

BP カストロール株式会社



平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、BPカストロール株式会社「第43期 報告書」をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも、「Castrol」ブランドおよび「BP」ブランドへの変わらぬご愛顧と、当社へのより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月
BPカストロール株式会社
代表取締役社長 小石 孝之

■ 当期の概況

当事業年度におけるわが国経済は、輸出・生産に弱さがみられるものの、企業収益や雇用環境の改善が持続するなど、緩やかな景気の回復基調が続いております。個人消費につきましても同様に持ち直しの動きが見られるものの、消費税増税により消費者マインドは押し下げられ、生活関連商品における節約志向や選別消費の傾向が継続しております。

海外経済は全体としては緩やかに回復しておりますが、そのテンポは鈍化しております。米中間の通商問題を巡る動向及び影響、英国のEU離脱の影響等によるリスク、さらに中国での景気減速の継続など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

自動車業界におきましては、小型・ハイブリッドの低燃費

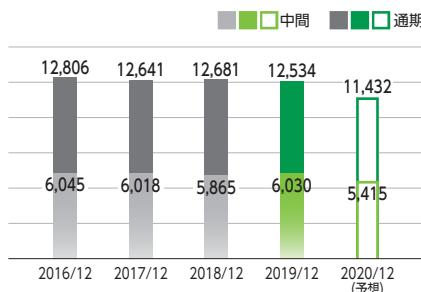
車並びに軽自動車が消費者からの根強い支持を集めております。新車販売台数に関しましては、消費税増税前の駆け込み需要が見られたものの、年間では前年比減少となり、厳しい経営環境となっております。

このような市場環境の下、自動車用潤滑油の販売面では、当社の強みであり消費者の関心も高い環境配慮型の低粘度・省燃費プレミアムエンジンオイル、トランスミッションオイルの積極的な拡販に引き続き焦点を当て、環境への配慮を表す特色として「CO₂ニュートラル(※3ページ参照)」コンセプトも前面に出しながら、当社旗艦製品である「カストロールエッジ」、さらに「カストロールマグナテック」「カストロールトランスマックス」ブランドを中心に製品付加価値の訴求を行いました。オイル交換時に手軽にエンジン内部を洗浄できるという特長を持つエンジンシャンプーを中心としたエンジンオイル関連製品の拡販にも継続して注力し、また、9月に新たなカテゴリーとして発売したカーケア商品「カストロールプロシシリーズ」を、カーショップ・ホームセンターをはじめとした小売販売網向けに拡販し、より多くの消費者との接点を築いていくべく取り組みました。さらに、2018年度より開始した一部のeコマースサイトにおける当社ロゴ入りグッズの販売を通じ、引き続き、ブランド価値の更なる向上にも取り組みました。

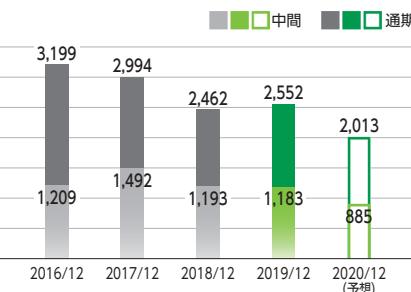
これらの結果、当事業年度における当社の売上高は1,2534百万円、営業利益は2,515百万円、経常利益は2,552百万円、当期純利益は1,697百万円となりました。

■ 財務ハイライト *Financial Highlights*

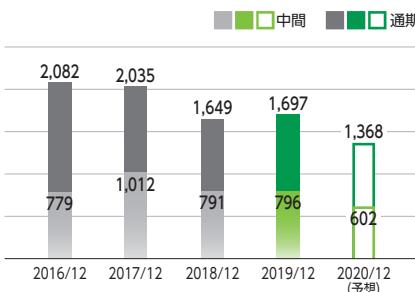
売上高 単位：百万円



経常利益 単位：百万円



当期(四半期)純利益 単位：百万円



当期の期末配当につきましては、業績及び配当方針に基づき1株当たり40円とさせて頂きました。

次期の見通し

今後のわが国経済は、政府による各種政策などにより、景気は緩やかな回復基調で推移していくと予測されますが、消費税増税後の消費者マインドの動向や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。また、政治・経済政策リスクや地政学リスクが原油価格を大きく変動させるような状況には警戒が必要であると考えられ、先行きは未だ不透明で予断を許さない状況にあります。

このような経済環境の下、自動車用潤滑油市場全体としては新たな需要の押し上げ要因は見当たらず、引き続き売上数量・売上高は減少傾向が継続すると予測しております。

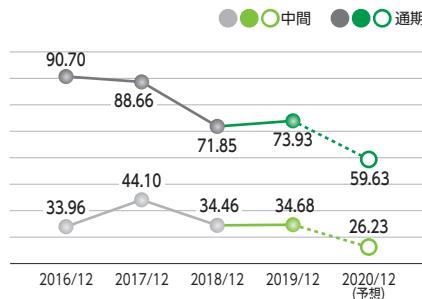
当社といたしましては、原油価格、為替の変動要因、OEM供給先の契約終了などの要素を勘案しつつ、次年度へ向けて、環境配慮型の低粘度・省燃費商品の拡販、マーケットニーズに合致した新商品の導入、プレミアム商品の消費者への更なる訴求、近隣カテゴリー商品を通じた消費者との接点構築、新規取扱店の拡大に加え、引き続き原価低減・コスト削減に注力することにより、売上高は11,432百万円、経常利益は2,013百万円、当期純利益は1,368百万円を計画しております。



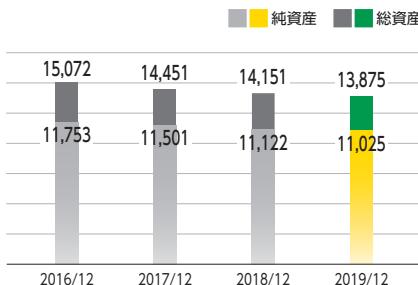
BPカストロール株式会社

代表取締役社長 小石 孝之

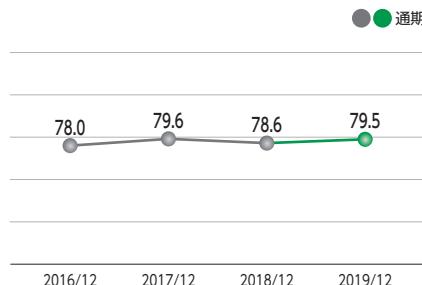
1株当たり当期(四半期)純利益 単位:円



純資産/総資産 単位:百万円



自己資本比率 単位:%



新 商 品 情 報

2019年9月にカストロールブランド初のカーケア商品「カストロール PROシリーズ」を日本限定にて発売いたしました。今回、発売したシリーズは「ウォッシュPRO 100倍希釈」「ウォッシュPRO 50倍希釈」「ウォッシュ&コーティングPRO」「コーティングPRO」「インテリアPRO」の5商品です。

カストロール PROシリーズは、“プロも納得の妥協ない性能・品質”をコンセプトに、簡単で手間をかけずに、いつまでも新車のような輝きをサポートできる商品に仕上げました。

潤滑油に加え、カーケア商品の展開により新たな売上を創出し、成熟した市場の中においても継続的なビジネスの成長を目指します。



販 売 促 進 情 報

年末の最需要期にカーショップにおいて、全合成油“カストロール エッジ”の店頭プロモーションを実施いたしました。今回は、9月に発売した「カストロール PROシリーズ」も対象商品とすることで、店頭での認知、およびカストロールエッジとの併せ買いの促進をはかりました。

10月の増税による消費低迷の影響がある中、このプロモーションにより、該当製品の12月度の販売は、前年比105%を達成することができました。

今後もプレミアム商品への積極的な投資を継続し、高単価・高付加価値商品ユーザーの拡大による売上への貢献をはかって参ります。



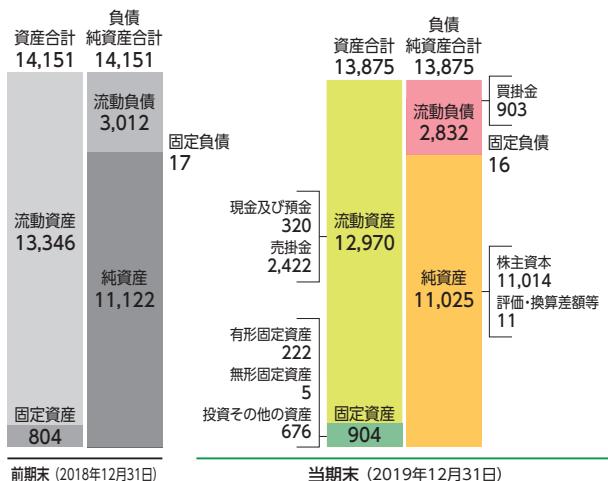
表紙の写真は、アフリカ南部に位置するザンビア共和国で行っている、森林破壊や密猟から森林を保護するプロジェクトの活動の一面を撮影したものです。

国内で販売するカストロール製品の殆どが、業界に先駆けグローバル最高基準による「CO₂ニュートラル」の正式認定を受けており、ザンビアのプロジェクトを含めた全世界における環境保全活動を支援しています。

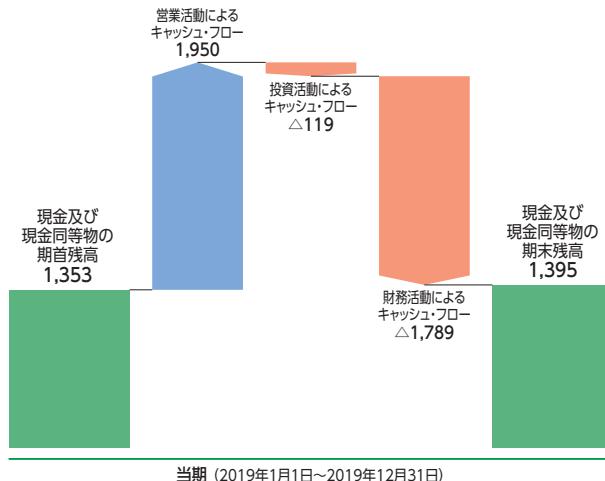
「CO₂ニュートラル」とは、製品から排出されるCO₂のうち自らの活動だけでは削減できない分を温室効果ガス排出削減プロジェクトへの投資活動を通じて相殺し、大気中に排出されるCO₂を実質ゼロにする取り組みです。

● 単位：百万円、百万円未満切り捨て

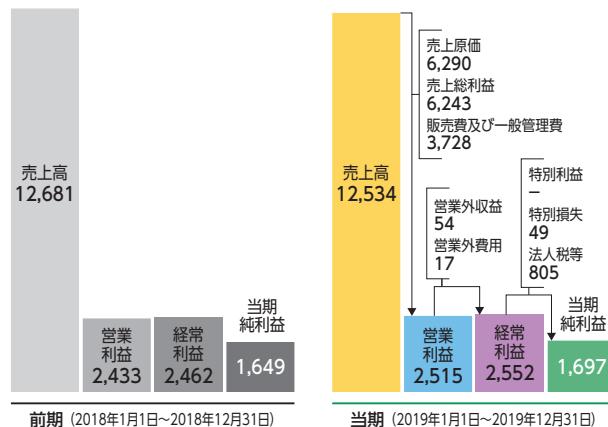
貸借対照表の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



損益計算書の概要



● 売上高

売上高は、環境配慮型の低粘度・省燃費プレミアムエンジンオイル、トランスミッションオイルの積極的な拡販に引き続き焦点を当て、「CO₂ニュートラル」コンセプトも前面に出しながら、当社旗艦製品を中心に製品付加価値の訴求などに取り組むことで12,534百万円となりました。

● 純資産

純資産の残高は、11,025百万円(前事業年度末は11,122百万円)となり、96百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が当期純利益により1,697百万円増加し、剰余金の配当により1,790百万円減少したことによるものです。

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,950百万円(前年同期比153百万円の増加)となりました。これは、主に税引前当期純利益が2,503百万円、減価償却費の計上が108百万円であり、またその他の資産の減少210百万円により資金が増加した一方、仕入債務の減少176百万円及び法人税等の支払額794百万円により資金が減少したことによるものです。

● 2019年12月31日現在

会社の概況

商号	ビーピー・カストロール株式会社 英文名:BP Castrol K.K.
本社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階 TEL:03-5719-6000(代)
設立	1978年9月
事業内容	英国の石油会社BP p.l.c.が持つCastrolブランド およびBPブランドの自動車用潤滑油を日本市場 に合わせて製造・販売
資本金	14億91百万円
従業員数	108名(15名) (注)臨時従業員数は、()内に年間の平均人数を外数で記載 しております。
子会社	ビーピー・ルブリカンツ株式会社 カストロール株式会社

役員

2020年3月25日現在

取締役会長	チャールズ・ポッスルズ
代表取締役社長	小石 孝之 カストロール株式会社代表取締役社長兼務 ビーピー・ルブリカンツ株式会社代表取締役社長兼務
取締役副社長	平川 雅規
取締役	長浜 靖子
取締役	渡辺 克己
取締役(監査等委員)	東松 国明
取締役(社外、監査等委員)	松竹 直喜
取締役(社外、監査等委員)	望月 文夫

株式の概況

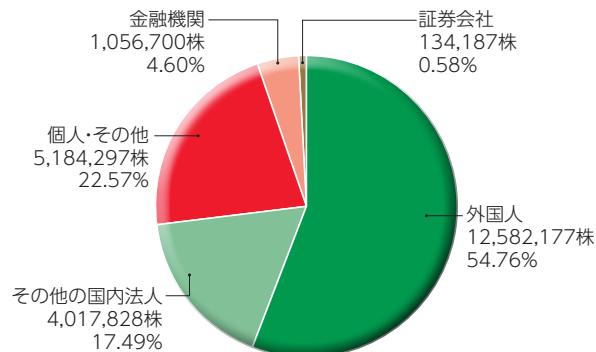
発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	22,975,189株
株主数	9,512名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
カストロール・リミテッド	12,234,273	53.29
ティー・ジェイ株式会社	2,661,748	11.59
日本自動車整備商工組合連合会	1,144,512	4.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	329,700	1.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	199,200	0.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	143,300	0.62
鈴木 育男	110,000	0.48
三島 泰	100,700	0.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口2)	100,400	0.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	98,400	0.43

(注)持株比率は、自己株式17,450株を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	毎年3月	
基準日	定時株主総会	12月31日
	期末配当金	12月31日
	中間配当金	6月30日
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(電話照会先)	電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。	

●住所変更、単元未満株式の買取、配当金の受取方法のご指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い

- 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。
- お届出が済んでいない株主さまは、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

お届出が済んでいない株主さまは、お早めにお手続きください。

マイナンバーの取扱いについて

- マイナンバーの取扱いは厳格な安全管理措置が設けられており、利用範囲は社会保障・税・災害対策の行政手続きに限定されています。
- 法令で定められた目的以外でマイナンバーを使用することや他人にマイナンバーを提供することは禁じられています。

マイナンバー制度について

- マイナンバー(社会保障・税番号制度)ホームページ
<https://www.cao.go.jp/bangouseido/>
- マイナンバー総合フリーダイヤル マイナンバー

 0120-95-0178



マイナンバーのお届出およびお問い合わせ先について

<上場会社の株式等をお持ちの株主さま>

証券会社等にて株式等を管理・購入・取引されている場合は、証券会社等へお届出をお願いします。
お手続き方法など詳細につきましては、お取引のある証券会社等までお問い合わせください。

<未上場会社の株式等をお持ちの株主さま>

ご所有の株式等の発行会社または株主名簿管理人にお届出をお願いします。お手続きの詳細につきましては、株式の発行会社または下記株主名簿管理人にお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

 0120-782-031

BP カストロール株式会社

本社 IR担当 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階
TEL:03-5719-7750
URL:<http://www.bpcastrol.com>

証券コード 5015



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷
するとともに、針金を使わない「ECO綴じ」製本を採用しています。